

令和2年度事業報告

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、中止・延期とした事業がありました。
主なもの

①20周年記念事業

7月17日(金)に開催する予定の20周年記念事業を、新型コロナの影響から、規模を縮小して11月に延期としましたが、6月に11月開催予定を時期を決めず延期としました。さらに、12月に年度内及び次年度上期の開催は困難と判断し、20周年記念事業は中止としました。

また、記念事業の中で予定しました本庶先生の記念講演は、令和3年度のSATフォーラムの講師としてお願いすることとしました。

②つくばスタイル交流会

11月28日(土)に開催予定でしたが、新型コロナの影響から年度内の開催は困難と判断し、来年度に延期することとしました。

③会誌

20周年記念事業を中心とした記事の掲載を予定していたため、今年度は発行を見送りました。なお、次号会誌38号は20周年記念特集として、令和3年6月に発行予定としました。

1 研究開発奨励事業

茨城県内における科学技術の振興及び産業の発展に寄与するとともに「科学技術創造立県 いばらき」を広く全国にPRするため、以下の者に対し各賞を授与し、授賞式を実施した。

ア 受賞者及び研究主題

①第17回江崎玲於奈賞

東北大学大学院理学研究科物理学専攻 教授／東北大学先端スピントロニクス研究開発センター センター長 平山 祥郎 氏

「半導体ナノ構造における核スピンの電子的制御と量子情報技術への応用の研究」

②第31回つくば賞

茨城大学大学院理工学研究科(理学野)地球環境科学領域 教授 岡田 誠 氏

国立極地研究所地圏研究グループ 准教授 菅沼 悠介 氏

産業技術総合研究所地質調査総合センター 産総研特別研究員 羽田 裕貴 氏

「我が国初の地質時代名称「チバニアン」承認の礎となった地磁気逆転および古海洋変動復元に関する研究」

③第30回つくば奨励賞

○実用化研究部門

物質・材料研究機構統合型材料開発・情報基盤部門データ駆動高分子設計グループ グループリーダー 内藤 昌信 氏

「生物を規範にした接着・コーティング材料の実用化研究」

○若手研究者部門

物質・材料研究機構磁性・スピントロニクス材料研究拠点磁性材料解析グループ 主幹研究員 佐々木 泰祐 氏

「マルチスケール組織解析による金属材料の高性能化に関する研究」

イ 授賞式(新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、受賞記念講演会は開催せず、最小限の関係者のみで賞毎に開催した。)

①第17回江崎玲於奈賞

開催日 令和3年3月18日(木)

場 所 東京国際フォーラム

②第31回つくば賞

開催日 令和3年3月9日(火)

場 所 茨城大学

③第30回つくば奨励賞(実用化研究部門、若手研究者部門とも)

開催日 令和3年3月11日(木)

場 所 つくば国際会議場

2 研究交流促進事業

○賛助会員交流会

賛助会員間の交流及び大学・各研究機関等の研究者との交流を図った。

[第23回]

開催日：令和3年1月27日(水)

形 態：オンライン

参加者：21名

内 容：

・賛助会員事業紹介

(公財)つくば科学万博記念財団 専務理事 瀬戸口 啓一 氏

(公財)山田科学振興財団 専務理事 中西 潮 氏

・研究紹介

産業技術総合研究所 プラットフォームフォトニクス研究センター

研究センター長 並木 周 氏

「Society5.0を支える「プラットフォームフォトニクス」の創出」

3 研究産業交流事業

つくばの各研究機関の異分野研究者及び企業との交流を促進するとともに、科学・技術の成果を産業に活かすための事業を行った。

○SATテクノロジー・ショーケース2021

開催日：令和3年2月19日(金)

形 態：オンライン

参加者：延466名

【内容】

・ポスター発表と1分間のインデクシング

発表件数 84件(一般ポスター79件、つくば発注目研究ポスター5件)

・特別シンポジウム

メインテーマ：地球観測衛星と新型コロナウイルス感染症

■講演

- ・宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門 衛星利用運用センター
研究開発員 濱本 昂 氏

「コロナ影響把握のための衛星データ解析における国際連携」

- ・宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門 地球観測研究センター/
GOSAT-2 プロジェクトチーム 主任研究開発員 塩見 慶 氏

「GOSAT による温室効果ガス観測にみるコロナの影響」

- ・宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門 地球観測研究センター
研究開発員 山地 萌果 氏

「with コロナ時代の地球観測衛星を活用した災害対応」

①「JAXA における災害への取り組み」

- ・土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター
主任研究員 大原 美保 氏

「with コロナ時代の地球観測衛星を活用した災害対応」

②「西アフリカ諸国での衛星観測雨量を活用した洪水監視・予測システム」

■パネル討論

「地球観測衛星と新型コロナウイルス感染症」をテーマに、4名の講演者に講演の途中でリモート出演された宇宙航空研究開発機構川北史朗氏が加わってパネル討論を行った。

座長：宇宙航空研究開発機構 理事・筑波宇宙センター所長 寺田 弘慈 氏

- ・企画展示：2 件
- ・共催機関広報展示：1 4 件
- ・弁理士による発明無料相談コーナー

4 共催事業／つくば科学・技術産業イニシアティブ

開催日	開催内容	開催場所・形態
142 回 7 月 28 日(火)	「明日を切り拓く先端農業の課題と対応」 千葉大学学術研究・イノベーション推進機構特任教授 中野明正 氏	オンライン
143 回 9 月 15 日(火)	「日本にイノベーションを起こす力を！」 武田薬品工業(株)湘南ヘルスイノベーションパークコマーシャル& ビジネスディベロップメントヘッド 久野孝稔 氏	オンライン
144 回 10 月 28 日(水)	「新型コロナ、「感染 7 段階モデル」で見える化する！」 国際医療福祉大学大学院教授/医学博士(医療情報) 高橋泰 氏	オンライン
145 回 11 月 20 日(金)	「この時代を逞しく生き抜く～感染防止と健康増進の両立～」 筑波大学人間総合科学学術院教授/医学博士 久野譜也 氏	オンライン
146 回 12 月 22 日(火)	「目指すべきポストコロナ社会への提言～自律分散・協調による「レジリエントで持続可能な社会」の実現」 三菱総合研究所金融DX本部 猪瀬淳也 氏	オンライン
147 回 1 月 28 日(木)	「科学技術イノベーション創出に向けた取り組み」 農業・食品産業技術総合研究機構理事長 久間和生 氏	オンライン

148 回 3 月 2 日(火)	「コロナ禍を乗り越えて、明るい未来を創造しよう！」 ①「新型コロナ流行による生活・社会変化の心身への影響」 産業技術総合研究所生命工学領域上級主任研究員 小島正己 氏 ②「体力低下防止のコツと元気長寿(健幸華齢)に向けて」 筑波大学名誉教授/日本体力医学会理事/ 日本介護予防健康づくり学会長 田中喜代次 氏	オンライン
---------------------	---	-------

5 広報活動の推進

○「会員企業訪問記」の掲載

会員相互の交流を深めることを目的に、事務局が賛助会員の事業所を訪問し、事業等の内容についてお伺いし、ホームページを通じて紹介した。

株式会社 つくば研究支援センター

○ホームページのリニューアル及び管理運営 <https://www.science-academy.jp/>

令和2年度 SAT 会員の状況

	種別	R2. 4. 1	退会	入会	R3. 4. 1
個人会員	一般会員	252	23	8	237
	特別会員	56	3	1	54
	名誉会員	4	1		3
	学生会員	1			1
	計	313	27	9	295
賛助会員		57	2		55

令和2年度 つくばサイエンス・アカデミー収支計算書

(単位：円)

項 目	当初予算額	決算見込額	増減額
事業活動収入			
補助金等(茨城県から)	5,899,000	5,792,801	△ 106,199
負担金(テクノロジー・ショーケース)	3,440,000	1,395,000	△ 2,045,000
会費	4,890,000	4,490,000	△ 400,000
賛助会員	3,900,000	3,600,000	△ 300,000
個人会員	990,000	890,000	△ 100,000
雑収入	150,000	236,496	86,496
参加費等	150,000	236,496	86,496
受取利息			0
他会計からの繰入金	4,219,000	739,220	△ 3,479,780
当 期 収 入 合 計	18,598,000	12,653,517	△ 5,944,483
事業活動支出			
研究・交流促進事業	11,992,000	10,278,824	△ 1,713,176
給料、賃金	10,099,000	9,485,966	△ 613,034
福利厚生費	60,000	43,503	△ 16,497
旅費	80,000	4,900	△ 75,100
通信運搬費	200,000	54,369	△ 145,631
消耗品費	40,000	119,133	79,133
会議費	275,000	23,440	△ 251,560
食糧費	10,000	0	△ 10,000
印刷製本費	100,000	39,380	△ 60,620
賃借料	380,000	0	△ 380,000
諸謝金	220,000	0	△ 220,000
負担金	88,000	88,000	0
広告宣伝費	420,000	312,004	△ 107,996
手数料	0	20,099	20,099
雑支出	20,000	88,030	68,030
テクノロジー・ショーケース運営事業	4,629,000	2,374,693	△ 2,254,307
給料、賃金	360,000	400,000	40,000
旅費	20,000	0	△ 20,000
通信運搬費	56,000	141,387	85,387
消耗品	20,000	6,022	△ 13,978
会議費	160,000	83,468	△ 76,532
食糧費	300,000	0	△ 300,000
賃借料	1,200,000	471,726	△ 728,274
広告宣伝費	310,000	295,900	△ 14,100
委託費	2,200,000	973,500	△ 1,226,500
租税公課	1,000	600	△ 400
雑支出	2,000	2,090	90
20周年記念事業	1,977,000		△ 1,977,000
旅費	165,000		△ 165,000
通信運搬費	50,000		△ 50,000
消耗品	15,000		△ 15,000
会議費	90,000		△ 90,000
食糧費	500,000		△ 500,000
賃借料	300,000		△ 300,000
諸謝金	520,000		△ 520,000
広告宣伝費	300,000		△ 300,000
手数料	35,000		△ 35,000
雑支出	2,000		△ 2,000
当 期 支 出 合 計	18,598,000	12,653,517	△ 5,944,483
当 期 収 支 差 額	0	0	0

※主な増減について

- 収入
- ・新型コロナの影響により、ショーケースをオンライン開催とし、参加費を例年の半額としたため。
 - ・新型コロナの影響により中止・延期とした事業があり、支出が減少し他会計からの繰入金が減少した。
 - ・会員の減少のため。
- 支出
- ・新型コロナの影響により中止・延期とした事業があったため。(20周年記念事業(中止)、つくばスタイル交流会(R3に延期)、会誌の発行など)
 - ・ショーケースをオンライン開催としたため、会場賃借料、運営委託費(会場設営経費等)が減少した。

※ アカデミー会計は、(一財)茨城県科学技術振興財団会計の一部であり、財団監事の小濱裕正氏、越智悟氏2名の監査を受けております。